
和光市
子ども・子育て支援事業計画策定のための
アンケート調査
(妊婦対象調査)
結果報告書

令和6年9月
和光市

目次

第1部 調査の概要	1
調査の概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査対象及び調査方法	3
3. 配布数及び回収結果	3
本調査の基本的な事項	3
1. 数値の基本的な取り扱いについて	3
第2部 妊婦対象調査	5
子ども・子育て支援に関するニーズ調査【妊婦】	7
1. 本人と家庭の状況について	7
(1) 居住地区	7
(2) 年齢	7
(3) 家族形態	8
(4) 市の居住歴	8
(5) 現在地に住むようになった理由	9
2. 妊娠・出産・子育てに関することについて	9
(1) 出産経験の有無	9
(2) 妊娠している子は何人目か	10
(3) 理想とする子どもの人数	10
(4) 妊娠して嬉しかったとき	11
(5) 嬉しさを共有した人	12
(6) 妊娠や出産で困ったこと	13
(7) 出産後の育児に関して気になること	14
(8) 出産や子育てに関する相談先	15
(9) 今回の妊娠に至った経緯	16
(10) 不妊検査を受けた人	16
(11) 本人の不妊治療の受診状況	17
(12) 不妊治療の種類	17
(13) 出産や子育てに関する情報の入手先	18
(14) 配偶者等が感じている心配ごと	19
(15) 妊娠中に配偶者等にしてほしいこと	20
3. 就労について	21
(1) 本人の就労状況	21
(2) 1週当たりの就労日数	21
(3) 1日当たりの就労時間	22
(4) 帰宅時刻	23

(5) 出産後における仕事の継続意向.....	23
(6) 仕事を続けたい理由.....	24
(7) 今回の妊娠をきっかけに仕事を辞めたのか.....	24
(8) 妊娠を機に仕事を辞めた理由.....	25
(9) 今後の就労意向.....	25
(10) 就労する際の子どもの年齢.....	26
(11) 希望する就労形態.....	26
(12) 希望する1週当たりの就労日数.....	27
(13) 希望する1日当たりの就労時間.....	27
4. 職場の状況について.....	28
(1) 通勤で利用している最寄り駅.....	28
(2) 妊娠後の時短・フレックス勤務の状況.....	28
(3) 育児休業制度の有無.....	29
(4) 育児休業取得の意向.....	29
(5) 希望する育児休業期間.....	30
(6) 女性が子育てと仕事の両立のために企業に要望すること.....	31
(7) 仕事と家庭生活とのバランスの満足度.....	31
5. 配偶者（パートナー）の仕事について.....	32
(1) 配偶者・パートナーの就労状況.....	32
(2) 1週当たりの就労日数／配偶者等.....	32
(3) 1日当たりの就労時間／配偶者等.....	33
(4) 帰宅時刻／配偶者等.....	34
(5) 通勤で利用している最寄り駅.....	35
6. 保育園・幼稚園等について.....	36
(1) 保育園や幼稚園などの利用意向.....	36
(2) 通わせたい施設.....	36
(3) 通わせたい時期／歳・月齢／月.....	37
(4) 通わせたい理由.....	37
(5) 子育て支援事業の認知状況.....	38
(6) 子育て支援事業の利用意向.....	39
7. 出産・子育てに関する和光市の満足度について.....	40
(1) 市は子育てしやすいところだと思うか.....	40
(2) 今後の定住意向.....	40
(3) 子育て支援の充実のために市に期待すること.....	41
(4) 自由意見.....	42

第 1 部 調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「和光市 第3期子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和7年度から令和11年度まで）を策定するにあたり、これから出産をされる皆様のサービスの利用希望等を把握し、教育・保育・子育て支援施策の充実を図るため、また、和光市子ども・子育て支援事業計画策定の基礎資料とするために実施した。

2. 調査対象及び調査方法

項目	妊婦対象調査
調査対象	市内在住の妊娠届出書を提出された方
配布数	219
抽出方法	全数調査
調査方法	郵送法（Web 併用）
調査時期	令和6年2月
調査地域	和光市全域

3. 配布数及び回収結果

項目	妊婦対象調査
配布数	219
有効回収数	180（郵送及び持参：73、オンライン：107）
有効回収率	82.19%（郵送及び持参：33.33%、オンライン：48.86%）

本調査の基本的な事項

1. 数値の基本的な取り扱いについて

- 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- 基数となるべき実数は“n＝〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問である。従って、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

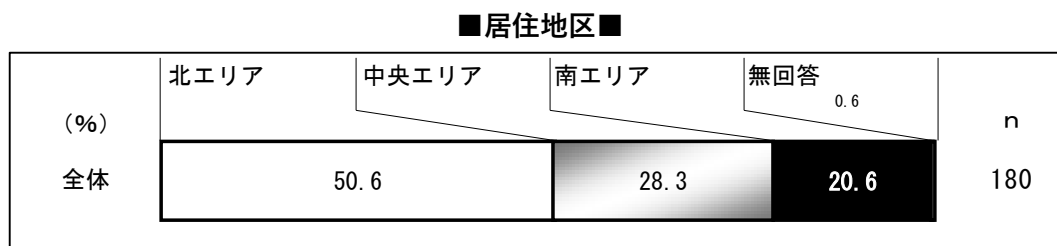
第 2 部 妊婦対象調査

子ども・子育て支援に関するニーズ調査【妊婦】

1. 本人と家庭の状況について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区はどこですか。

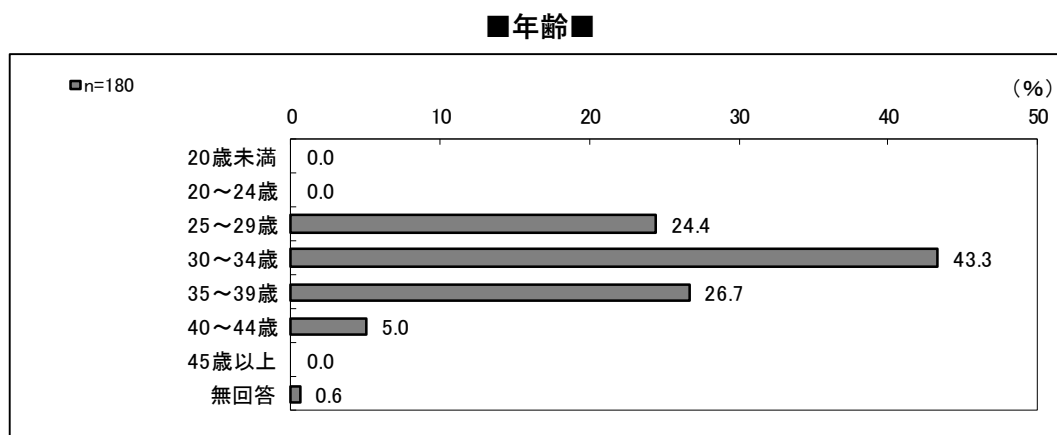


(2) 年齢

問2 あなたの年齢は何歳ですか（調査票記入時点）。



「30～34 歳」(43.3%)、「35～39 歳」(26.7%)、「25～29 歳」(24.4%)、「40～44 歳」(5.0%)。
 “24 歳以下”の回答はなかった。



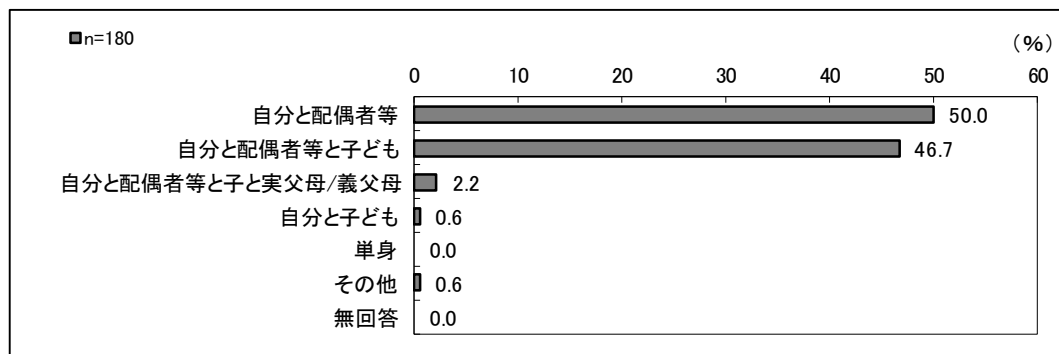
(3) 家族形態

問3 あなたの家族形態はどれにあたりますか。



「自分と配偶者等」(50.0%)、「自分と配偶者等と子ども」(46.7%)、「自分と配偶者等と子と実父母／義父母」(2.2%)、「自分と子ども」(0.6%)、「その他」(0.6%)。

■家族形態■



(4) 市の居住歴

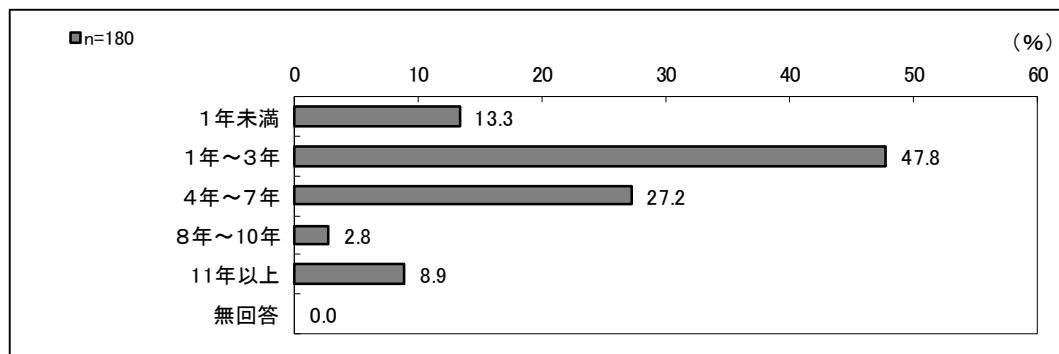
問4 あなたご自身は、和光市にどのくらい住んでいますか。



「1年～3年」(47.8%)、「4年～7年」(27.2%)、「1年未満」(13.3%)、「11年以上」(8.9%)、「8年～10年」(2.8%)。

回答者のうち、“3年以内”が61.1%、“4年以上”が38.9%を占める。

■市の居住歴■



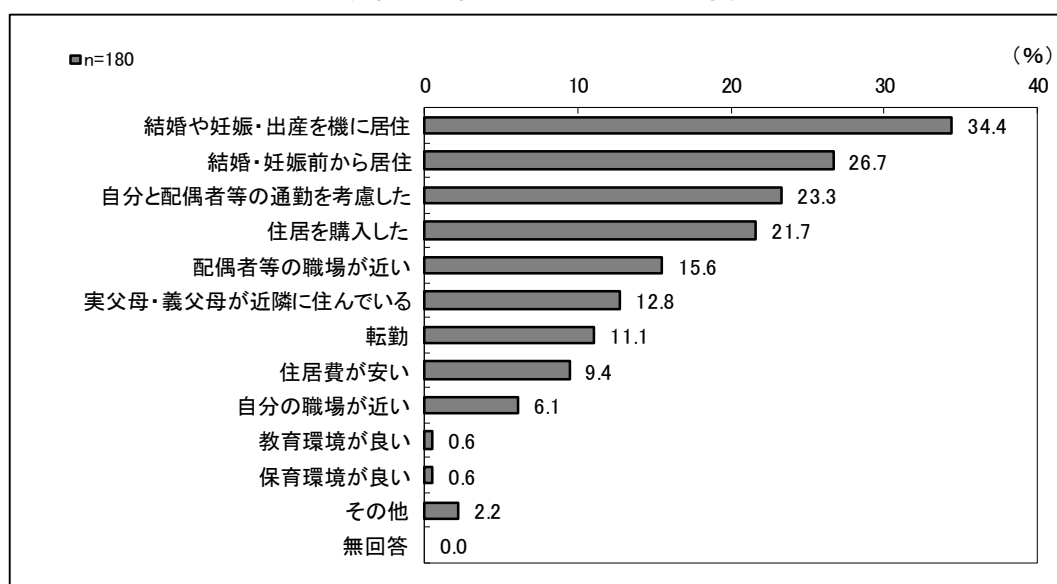
(5) 現在地に住むようになった理由

問5 あなたが現住地に住むようになった理由は何ですか。【複数回答】

「結婚や妊娠・出産を機に居住」(34.4%)が最も高い割合を占める。

「結婚・妊娠前から居住」(26.7%)、「自分と配偶者等の通勤を考慮した」(23.3%)、「住居を購入した」(21.7%)等がこれに続く。

■現在地に住むようになった理由■



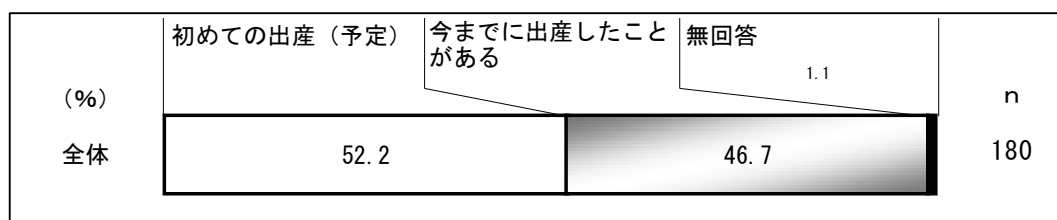
2. 妊娠・出産・子育てに関することについて

(1) 出産経験の有無

問6 あなたは、今までに出産したことがありますか。

「初めての出産（予定）」(52.2%)、「今までに出産したことがある」(46.7%)。

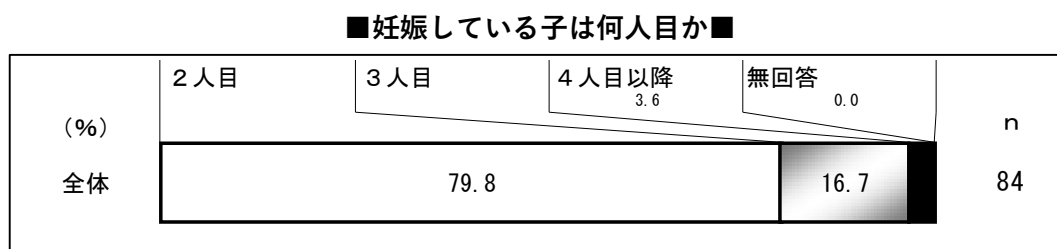
■出産経験の有無■



(2) 妊娠している子は何人目か

※ 問6で「2. 今までに出産したことがある」と回答した方のみ
問6-1 現在妊娠しているお子さんは何人目になりますか。

「2人目」(79.8%)、「3人目」(16.7%)、「4人目以降」(3.6%)。



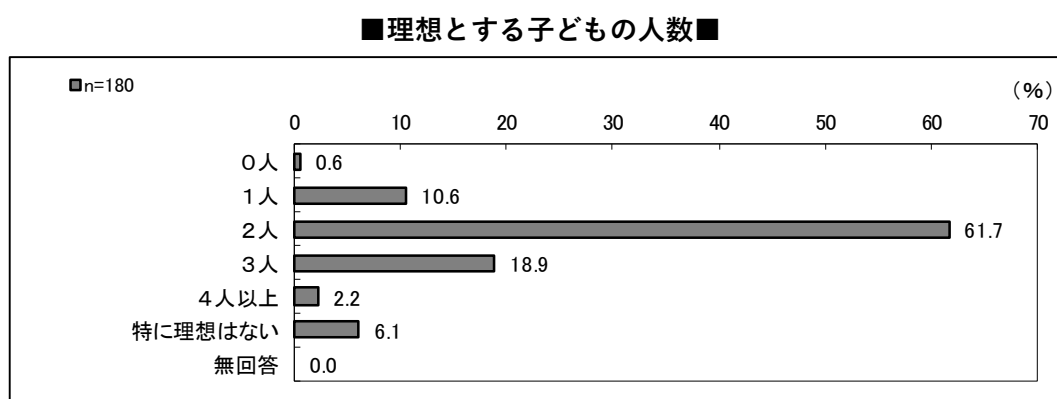
(3) 理想とする子どもの人数

問7 現在、あなたが理想とする子どもの数は何人ですか。

「2人」(61.7%) が最も高い割合を占める。
「3人」(18.9%)、「1人」(10.6%)、「4人以上」(2.2%)、「0人」(0.6%)。
「特に理想はない」が6.1%。

“3人以上”は回答者の21.1%を占める。

(参考：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2023)改訂版」によると、人口が長期的に増えも減りもせず一定となる合計特殊出生率の水準とされる人口置換水準は、2021年時点で2.07とされている。)



(4) 妊娠して嬉しかったとき

問 8 妊娠して嬉しかったのはどんなときですか。【複数回答】

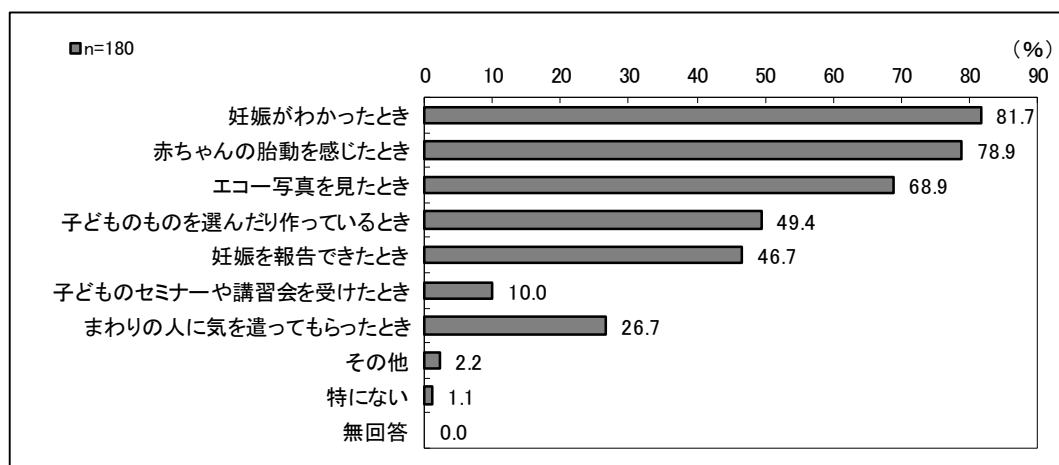


「妊娠がわかったとき」(81.7%)、「赤ちゃんの胎動を感じたとき」(78.9%) が高い割合を占める。

「エコー写真を見たとき」(68.9%)、「子どものものを選んだり作っているとき」(49.4%)、「妊娠を報告できたとき」(46.7%)、「まわりの人に気を遣ってもらったとき」(26.7%) 等がこれに続く。

「特にない」は 1.1%。

■妊娠して嬉しかったとき■



(5) 嬉しさを共有した人

※ 問8で「1」～「8」に○をつけた方のみ

問8-1 それは誰と共有しましたか。【複数回答】

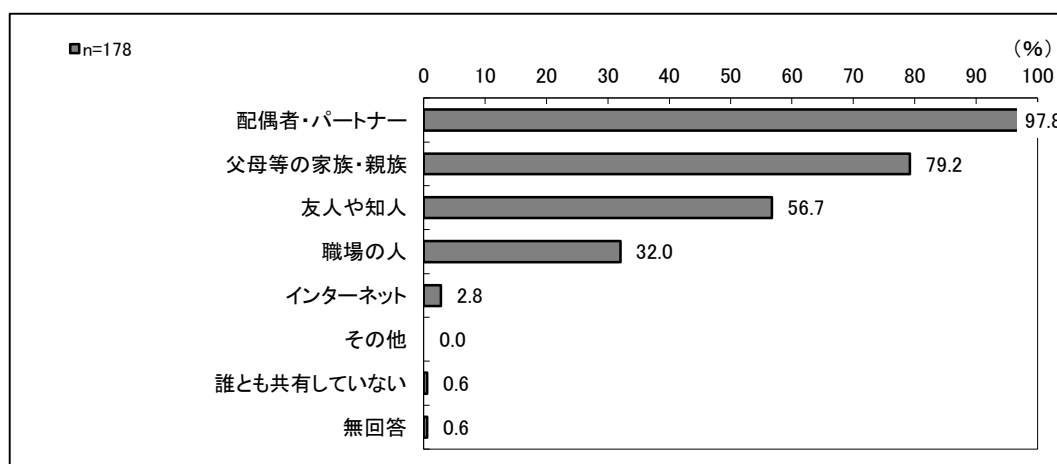


「配偶者・パートナー」(97.8%)が高い割合を占める。

「父母等の家族・親族」(79.2%)、「友人や知人」(56.7%)、「職場の人」(32.0%)、「インターネット」(2.8%)等がこれに続く。

「誰とも共有していない」は0.6%。

■嬉しさを共有した人■



(6) 妊娠や出産で困ったこと

問9 あなたの妊娠や出産について困ったことはありますか。【複数回答】

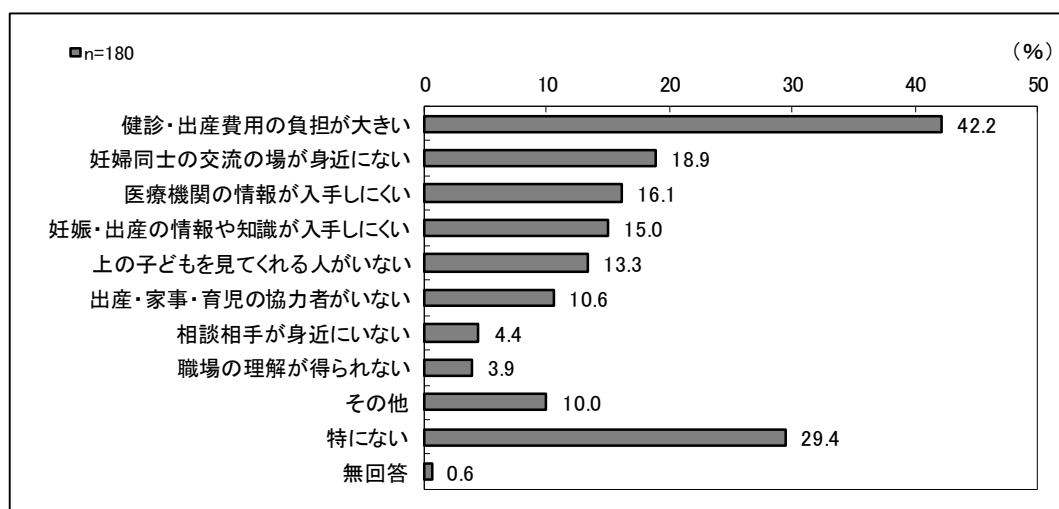


「健診・出産費用の負担が大きい」(42.2%)が高い割合を占める。

「妊婦同士の交流の場が身近にない」(18.9%)、「医療機関の情報が入手しにくい」(16.1%)、「妊娠・出産の情報や知識が入手しにくい」(15.0%)、「上の子どもを見てくれる人がいない」(13.3%)、「出産・家事・育児の協力者がいない」(10.6%)等がこれに続く。

「特にない」は29.4%。

■妊娠や出産で困ったこと■



(7) 出産後の育児に関して気になること

問 10 出産後、育児に関して気になることはどのようなことですか。【複数回答】

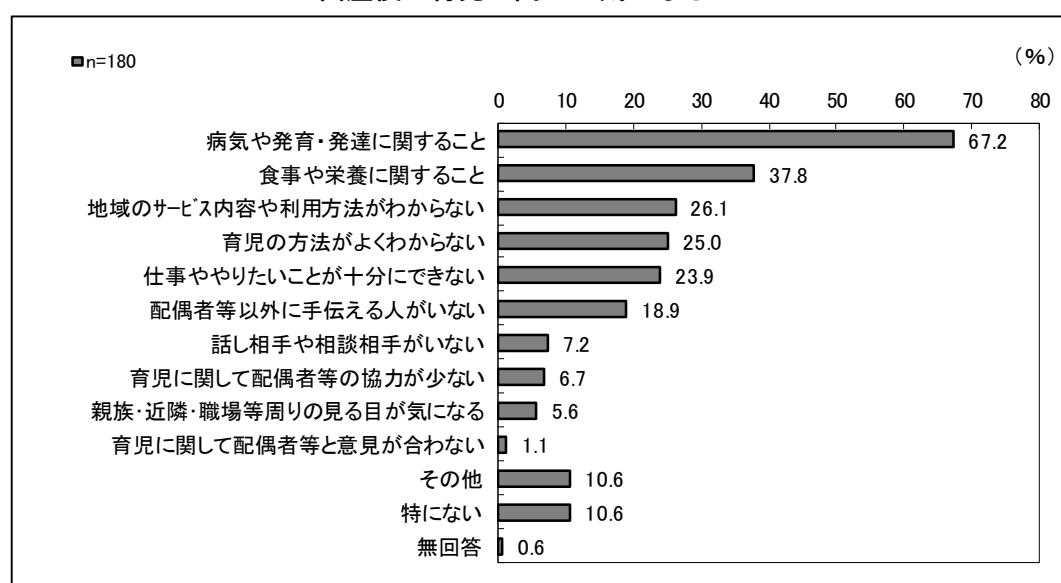


「病気や発育・発達に関すること」(67.2%)が高い割合を占める。

「食事や栄養に関すること」(37.8%)、「地域のサービス内容や利用方法がわからない」(26.1%)、「育児の方法がよくわからない」(25.0%)、「仕事ややりたいことが十分にできない」(23.9%)、「配偶者等以外に手伝える人がいない」(18.9%)等がこれに続く。

「特にない」は10.6%。

■ 出産後の育児に関して気になること ■



(8) 出産や子育てに関する相談先

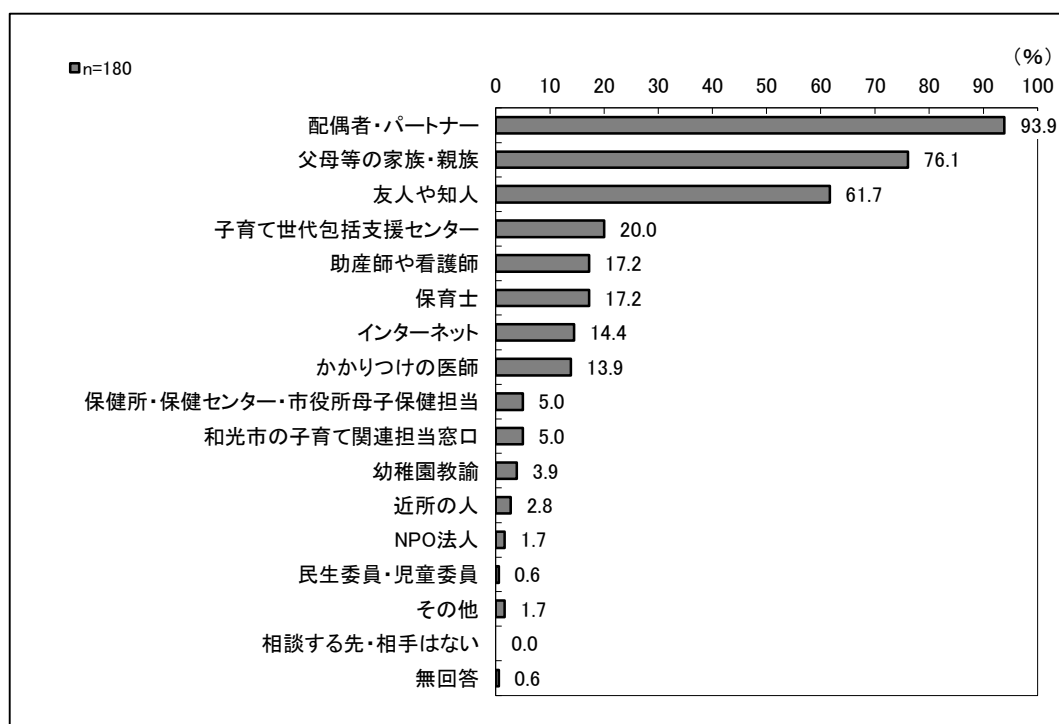
問 11 あなたは出産や子育てに関する不安や疑問を誰に相談しますか。【複数回答】



「配偶者・パートナー」(93.9%)、「父母等の家族・親族」(76.1%)、「友人や知人」(61.7%)
が高い割合を占める。

「子育て世代包括支援センター」(20.0%)、「助産師や看護師」(17.2%)、「保育士」(17.2%)、
「インターネット」(14.4%)、「かかりつけの医師」(13.9%) 等がこれに続く。

■ 出産や子育てに関する相談先 ■



(9) 今回の妊娠に至った経緯

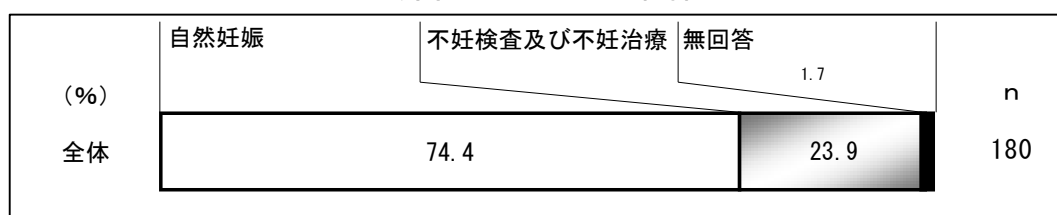
問 12 今回の妊娠に至った経緯を教えてください。



「自然妊娠」(74.4%)、「不妊検査及び不妊治療」(23.9%)。

回答者の4人に1人近く(23.9%、43人)が「不妊検査及び不妊治療」により妊娠に至ったと回答。

■ 今回の妊娠に至った経緯 ■



(10) 不妊検査を受けた人

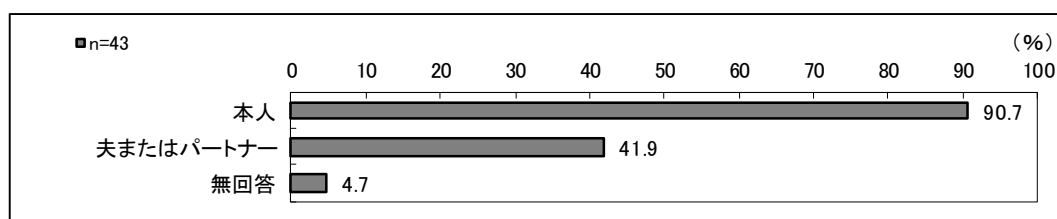
※ 問 12 で「2. 不妊検査及び不妊治療」と回答した方のみ

問 12-1 不妊検査を受けたのは誰ですか。【複数回答】



「本人」(90.7%)、「夫またはパートナー」(41.9%)。

■ 不妊検査を受けた人 ■

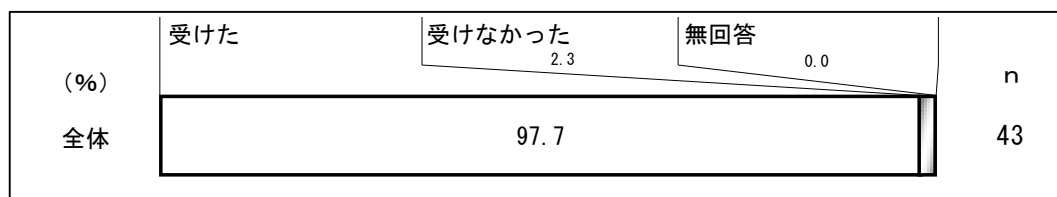


(11) 本人の不妊治療の受診状況

※ 問 12 で「2. 不妊検査及び不妊治療」と回答した方のみ
問 12-2 あなたは、不妊治療を受けましたか。

「受けた」(97.7%)、「受けなかった」(2.3%)。

■本人の不妊治療の受診状況■

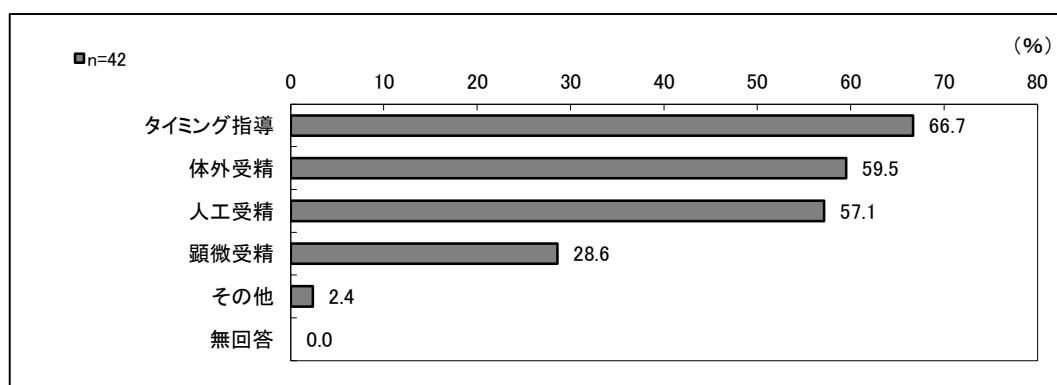


(12) 不妊治療の種類

※ 問 12-2 で「1. 受けた」と回答した方のみ
問 12-3 あなたが行った不妊治療は何ですか。【複数回答】

「タイミング指導」(66.7%)、「体外受精」(59.5%)、「人工受精」(57.1%)、「顕微受精」(28.6%)、「その他」(2.4%)。

■不妊治療の種類■



(13) 出産や子育てに関する情報の入手先

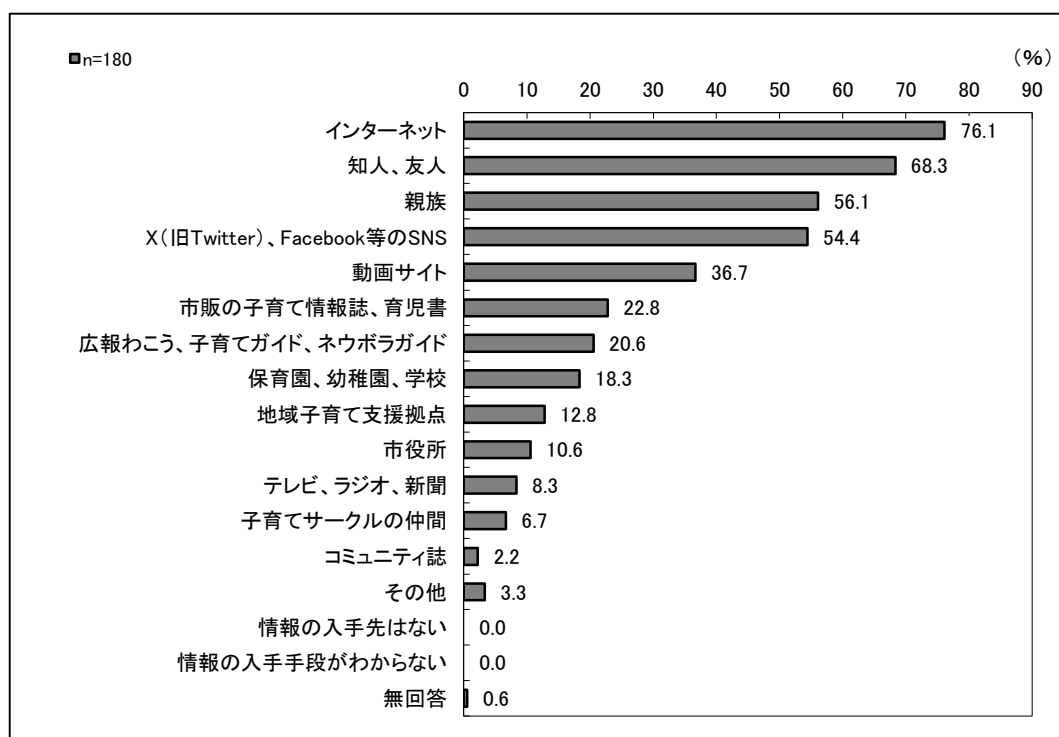
問 13 あなたは日頃、出産や子育てに関する情報をどちらから入手していますか。【複数回答】



「インターネット」(76.1%)、「知人、友人」(68.3%)が高い割合を占める。

「親族」(56.1%)、「X(旧Twitter)、Facebook等のSNS」(54.4%)、「動画サイト」(36.7%)、「市販の子育て情報誌、育児書」(22.8%)、「広報わこう、子育てガイド、ネウボラガイド」(20.6%)、「保育園、幼稚園、学校」(18.3%)等がこれに続く。

■ 出産や子育てに関する情報の入手先 ■



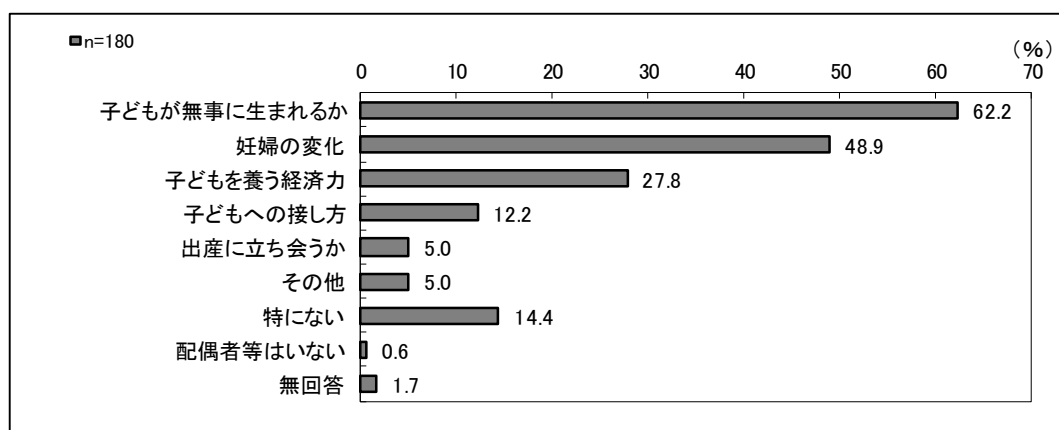
(14) 配偶者等を感じている心配ごと

問 14 妊娠中、あなたの配偶者（パートナー）はどのような不安や心配を感じていますか。
【複数回答】



「子どもが無事に生まれるか」（62.2％）が最も高い割合を占める。
「妊婦の変化」（48.9％）、「子どもを養う経済力」（27.8％）、「子どもへの接し方」（12.2％）、
「出産に立ち会うか」（5.0％）等がこれに続く。
「特にない」は 14.4％。

■ 配偶者等を感じている心配ごと ■



(15) 妊娠中に配偶者等にしてほしいこと

問 15 妊娠中、配偶者（パートナー）にどんなことをしてほしいですか。【複数回答】

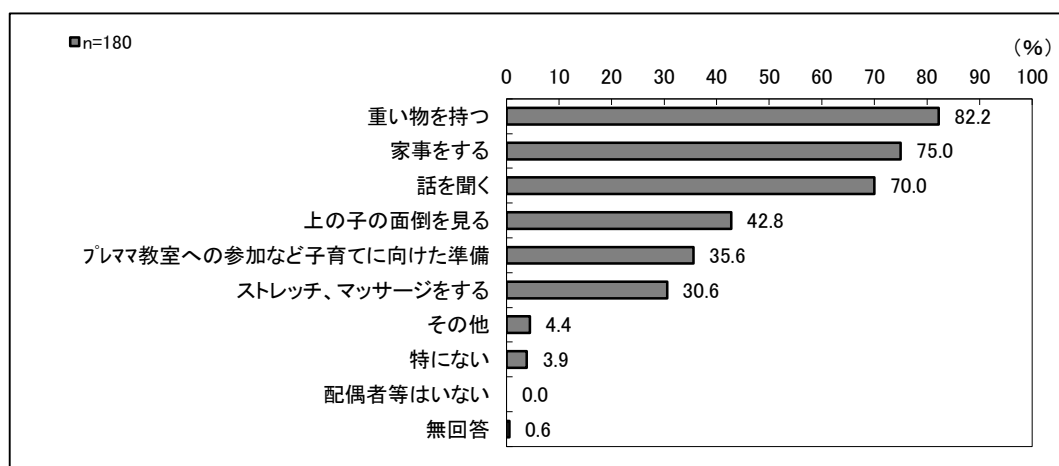


「重い物を持つ」(82.2%)、「家事をする」(75.0%)、「話を聞く」(70.0%) 等が高い割合を占める。

「上の子の面倒を見る」(42.8%)、「プレママ教室への参加など子育てに向けた準備」(35.6%)、「ストレッチ、マッサージをする」(30.6%) 等がこれに続く。

「特にない」は 3.9%。

■妊娠中に配偶者等にしてほしいこと■



3. 就労について

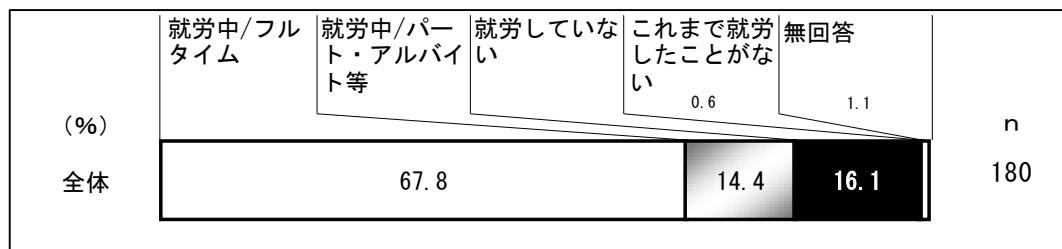
(1) 本人の就労状況

問 16 あなたの現在の就労形態、就労の有無などは次のどれですか。



「就労中／フルタイム」(67.8%)、「就労していない」(16.1%)、「就労中／パート・アルバイト等」(14.4%)、「これまで就労したことがない」(0.6%)。

■本人の就労状況■



(2) 1週当たりの就労日数

※ 問 16 で「1」または「2」(就労している)と回答した方のみ

問 16-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

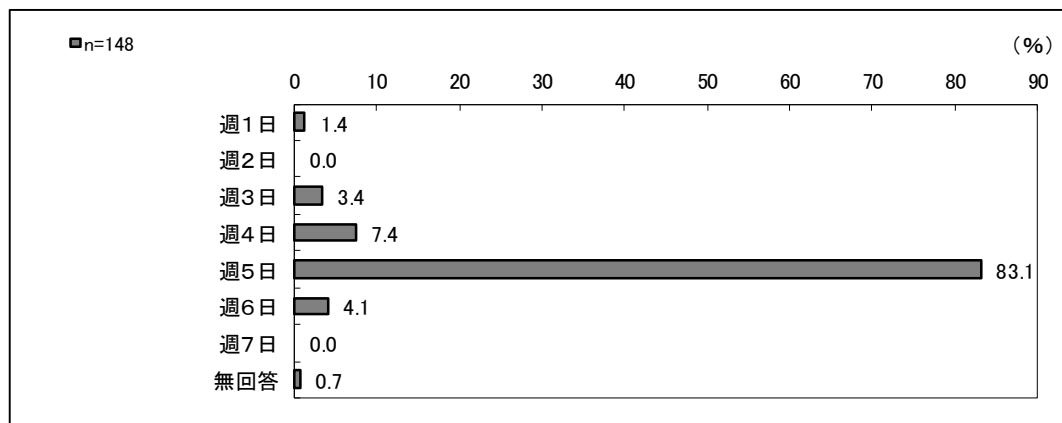
① 1週当たりの就労日数



「週5日」(83.1%)、「週4日」(7.4%)、「週6日」(4.1%)、「週3日」(3.4%)、「週1日」(1.4%)の順。

“週5日以上”が回答者の87.2%を占める。

■1週当たりの就労日数■



(3) 1日当たりの就労時間

② 1日当たりの就労時間

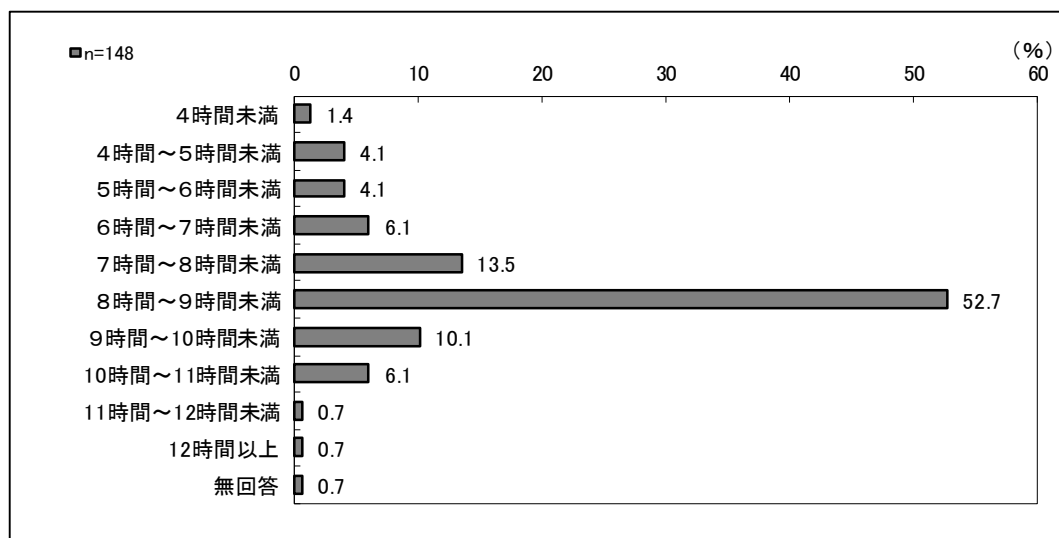


「8時間～9時間未満」(52.7%)が最も高い割合を占める。

「7時間～8時間未満」(13.5%)、「9時間～10時間未満」(10.1%)、「6時間～7時間未満」(6.1%)、「10時間～11時間未満」(6.1%)等がこれに続く。

“8時間以上”が回答者の70.3%を占める。

■ 1日当たりの就労時間 ■



(4) 帰宅時刻

※ 問 16 で「1」または「2」（就労している）と回答した方のみ

問 16-2 帰宅時刻をお答えください。時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

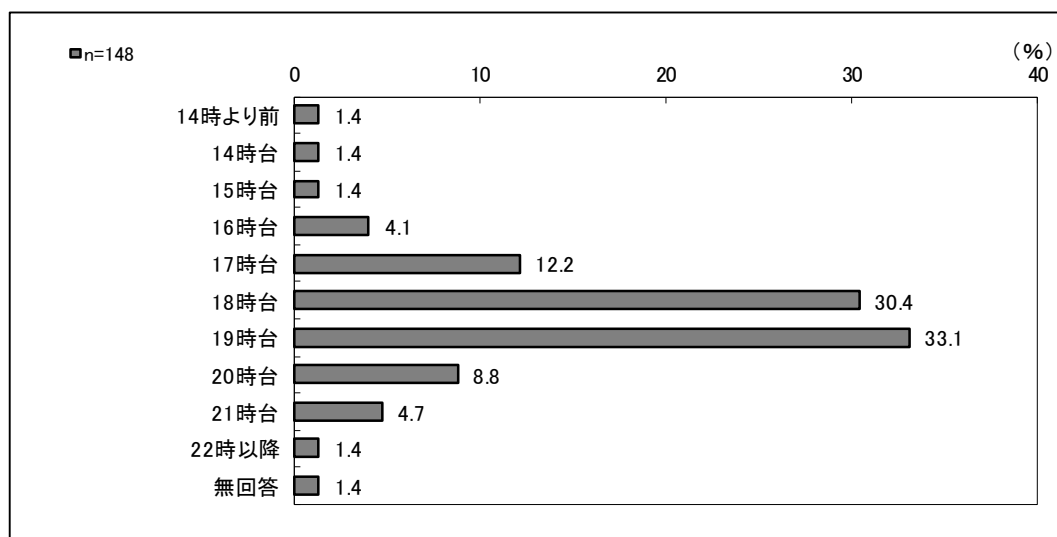


「19 時台」（33.1%）、「18 時台」（30.4%）が高い割合を占める。

「17 時台」（12.2%）、「20 時台」（8.8%）、「21 時台」（4.7%）、「16 時台」（4.1%）等がこれに続く。

“19 時以降”が回答者の 48.0%を占める。

■ 帰宅時刻 ■



(5) 出産後における仕事の継続意向

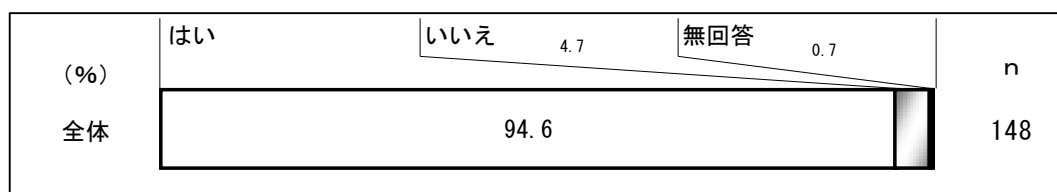
※ 問 16 で「1」または「2」（就労している）と回答した方のみ

問 16-3 あなたは出産後も仕事を継続したいと思いますか。



「はい」（94.6%）、「いいえ」（4.7%）。

■ 出産後における仕事の継続意向 ■



(6) 仕事を続けたい理由

※ 問 16-3 で「1. はい」と回答した方のみ

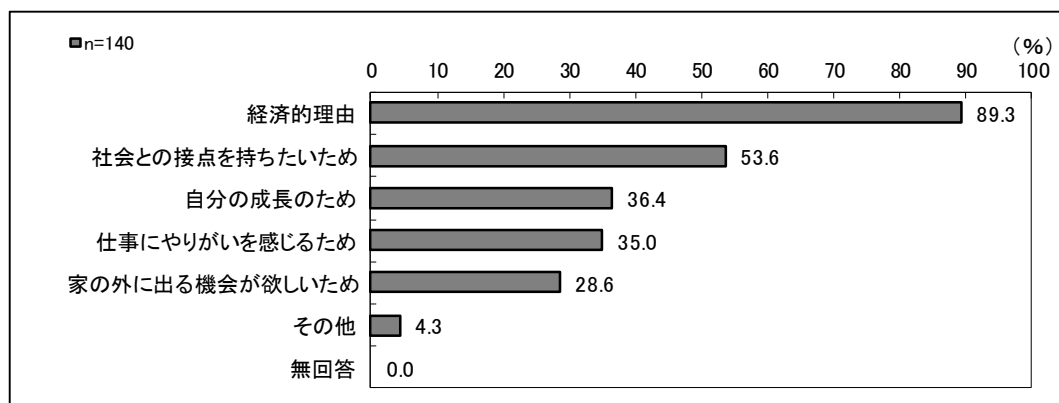
問 16-4 出産後も仕事を続ける理由または続けたいと思う理由は何ですか。



「経済的理由」(89.3%) が最も高い割合を占める。

「社会との接点を持ちたいため」(53.6%)、「自分の成長のため」(36.4%)、「仕事にやりがいを感じるため」(35.0%)、「家の外に出る機会が欲しいため」(28.6%) 等がこれに続く。

■仕事を続けたい理由■



(7) 今回の妊娠をきっかけに仕事を辞めたのか

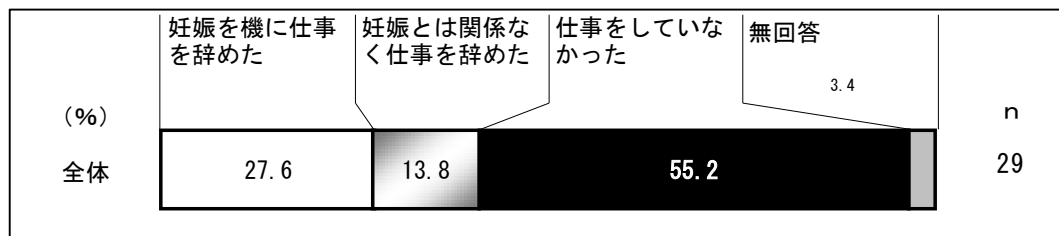
※ 問 8-6-3 で「イ」と回答した方のみ

問 16-5 あなたは今回の妊娠をきっかけに仕事を辞めましたか。



「仕事をしていなかった」(55.2%)、「妊娠を機に仕事を辞めた」(27.6%)、「妊娠とは関係なく仕事を辞めた」(13.8%)。

■今回の妊娠をきっかけに仕事を辞めたのか■



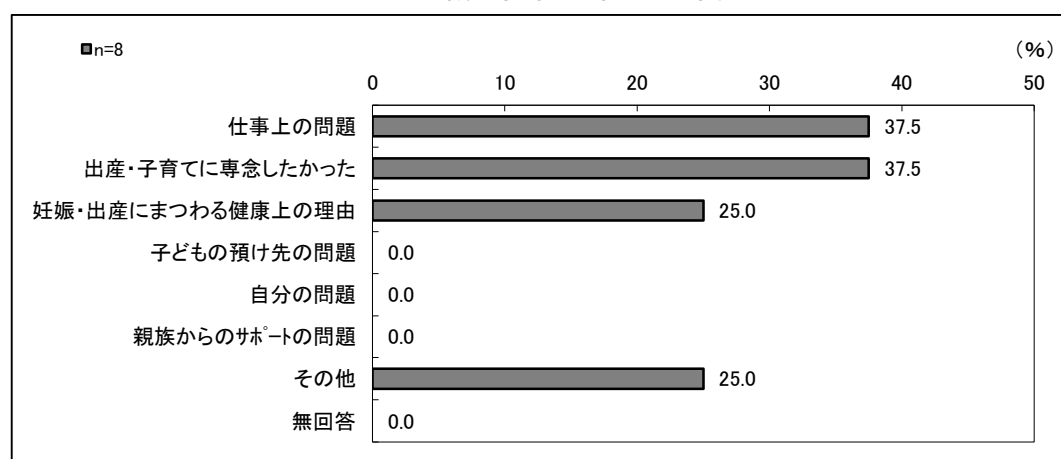
(8) 妊娠を機に仕事を辞めた理由

※ 問 16 で「3. 現在は就労していない」と回答した方のみ
問 16-6 妊娠を機に仕事を辞めた理由は何ですか。【複数回答】



「仕事上の問題」(37.5%)、「出産・子育てに専念したかった」(37.5%)、「妊娠・出産にまつわる健康上の理由」(25.0%)、「その他」(25.0%)。

■妊娠を機に仕事を辞めた理由■



(9) 今後の就労意向

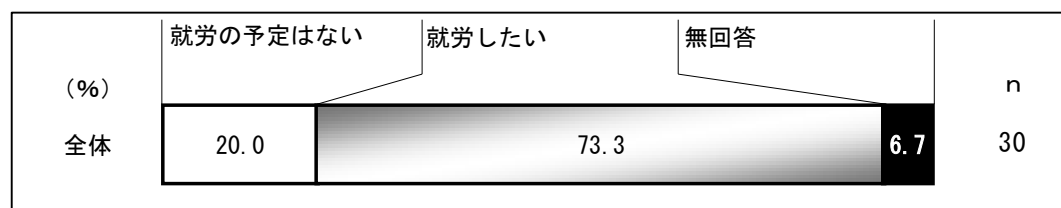
※ 問 16 で「3. 現在は就労していない」「4. これまで就労したことがない」と回答した方について

問 16-7 今後、仕事に就きたいと思いますか。



「就労したい」(73.3%)、「就労の予定はない」(20.0%)。

■今後の就労意向■



(10) 就労する際の子どもの年齢

※ 問 16-7 で「2. 就労したい」と回答した方のみ

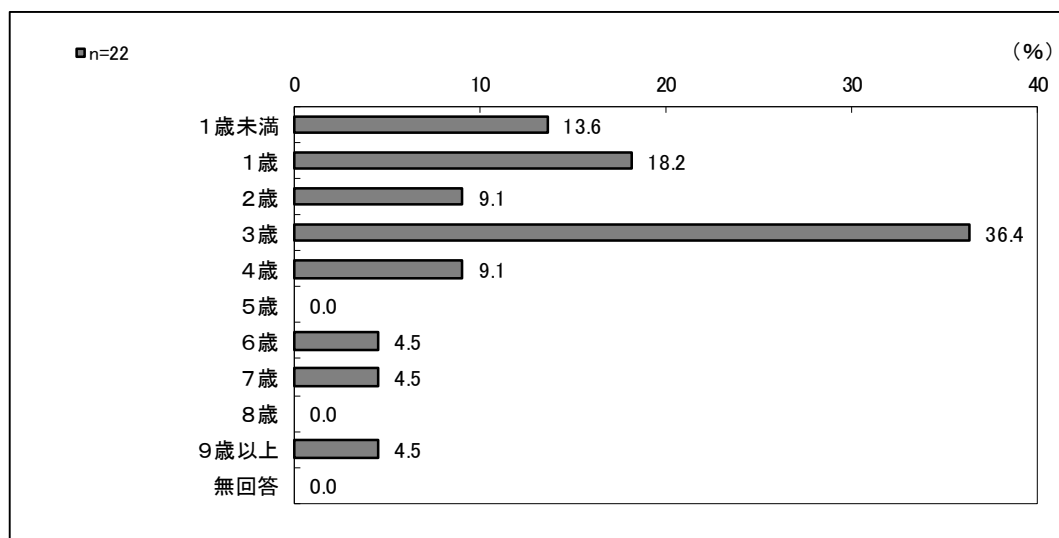
問 16-8 子どもが何歳くらいの時点で就労したいですか。



「3歳」(36.4%)が最も高い割合を占める。

「1歳」(18.2%)、「1歳未満」(13.6%)、「2歳」(9.1%)、「4歳」(9.1%)等がこれに続く。

■就労する際の子どもの年齢■



(11) 希望する就労形態

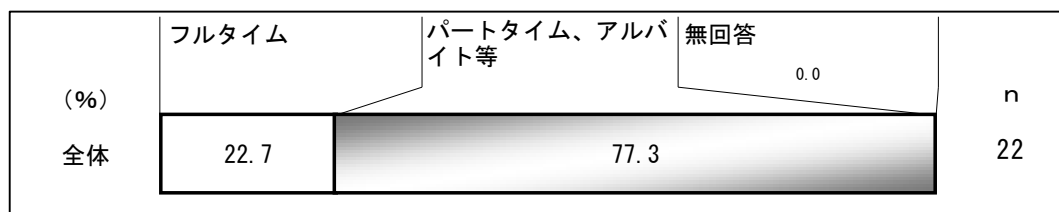
※ 問 16-7 で「2. 就労したい」と回答した方のみ

問 16-9 希望する就労形態をお答えください。



「パートタイム、アルバイト等」(77.3%)、「フルタイム」(22.7%)。

■希望する就労形態■



(12) 希望する1週当たりの就労日数

※ 問9で「1」または「2」に○をつけた方（お勤めの方）のみ

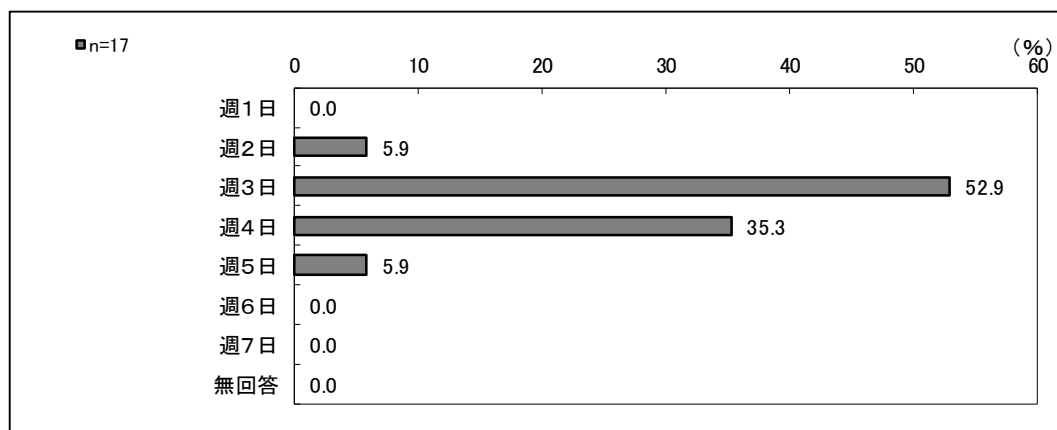
問16-10 希望する1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」をお答えください。

① 希望する1週当たりの就労日数



「週3日」(52.9%)、「週4日」(35.3%)、「週2日」(5.9%)、「週5日」(5.9%)。

■希望する1週当たりの就労日数■



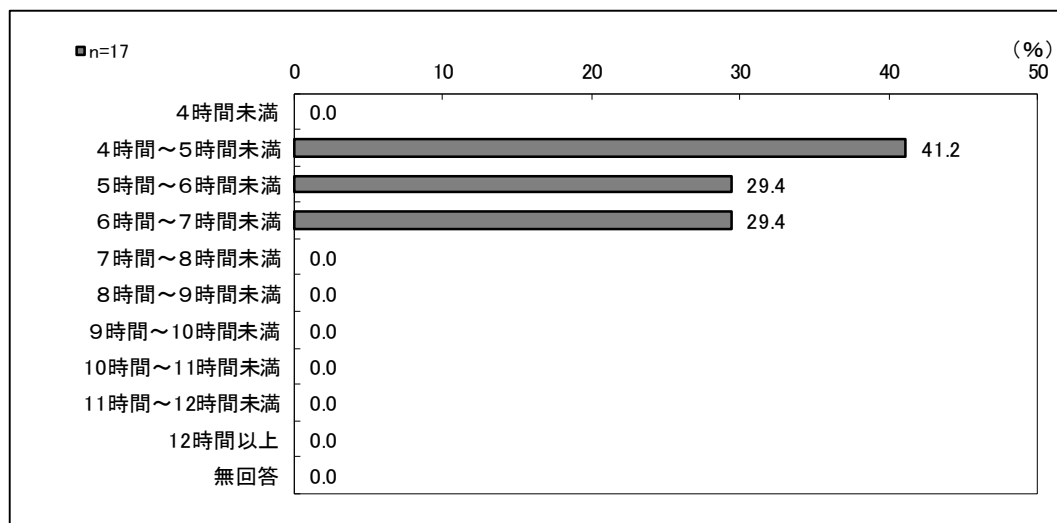
(13) 希望する1日当たりの就労時間

① 希望する1日当たりの就労時間



「4時間～5時間未満」(41.2%)、「5時間～6時間未満」(29.4%)、「6時間～7時間未満」(29.4%)。

■希望する1日当たりの就労時間■



4. 職場の状況について

(1) 通勤で利用している最寄り駅

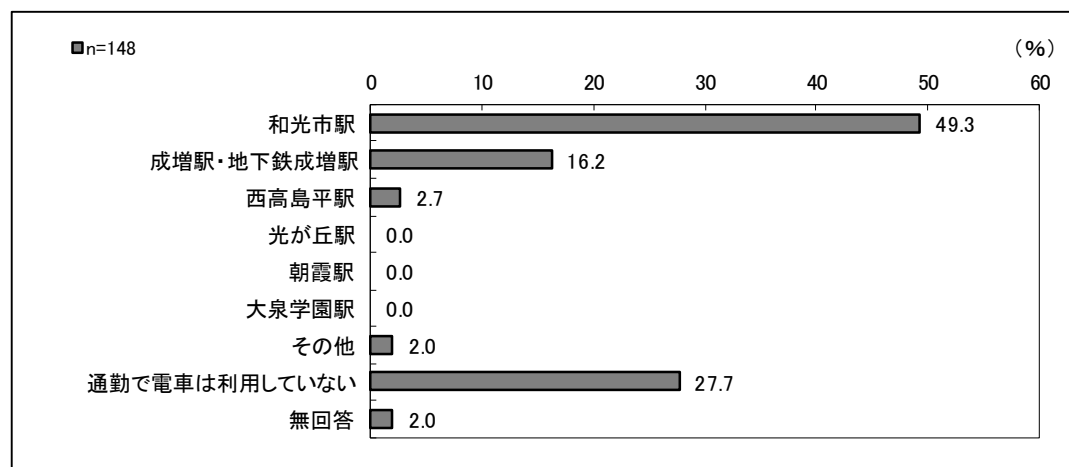
※ 問 16 で「1」または「2」と回答した方のみ

問 17 通勤で家から勤務先に通う際、最も多く利用している駅はどこですか。



「和光市駅」(49.3%)、「成増駅・地下鉄成増駅」(16.2%)、「西高島平駅」(2.7%)、「その他」(2.0%)、「通勤で電車は利用していない」(27.7%)。

■通勤で利用している最寄り駅■



(2) 妊娠後の時短・フレックス勤務の状況

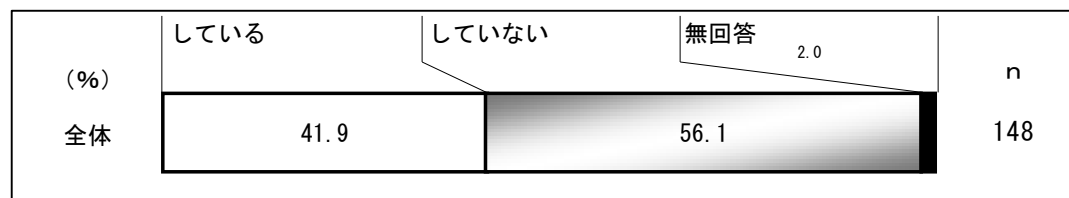
※ 問 16 で「1」または「2」と回答した方のみ

問 18 妊娠後、勤務時間の短縮やフレックス勤務をしていますか（していましたか）。



「していない」(56.1%)、「している」(41.9%)。

■妊娠後の時短・フレックス勤務の状況■



(3) 育児休業制度の有無

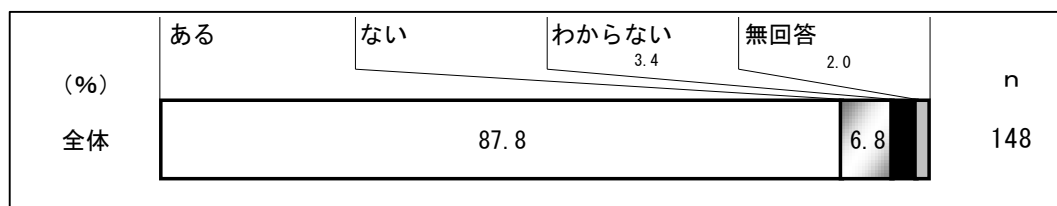
※ 問 16 で「1」または「2」と回答した方のみ

問 19 あなたの職場には、育児休業制度がありますか。



「ある」(87.8%)、「ない」(6.8%)、「わからない」(3.4%)。

■ 育児休業制度の有無 ■



(4) 育児休業取得の意向

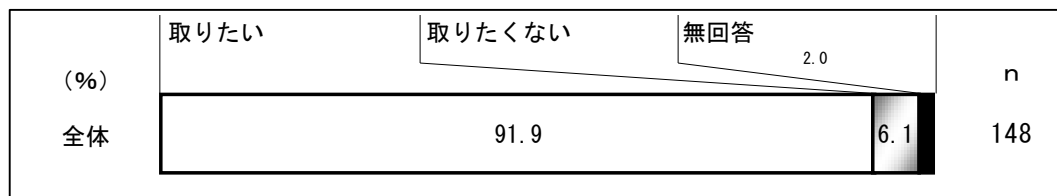
※ 問 16 で「1」または「2」と回答した方のみ

問 20 あなたは、育児休業を取りたいと思いますか。



「取りたい」(91.9%)、「取りたくない」(6.1%)。

■ 育児休業取得の意向 ■



(5) 希望する育児休業期間

※ 問 20 で「1. 取りたい」と回答した方のみ

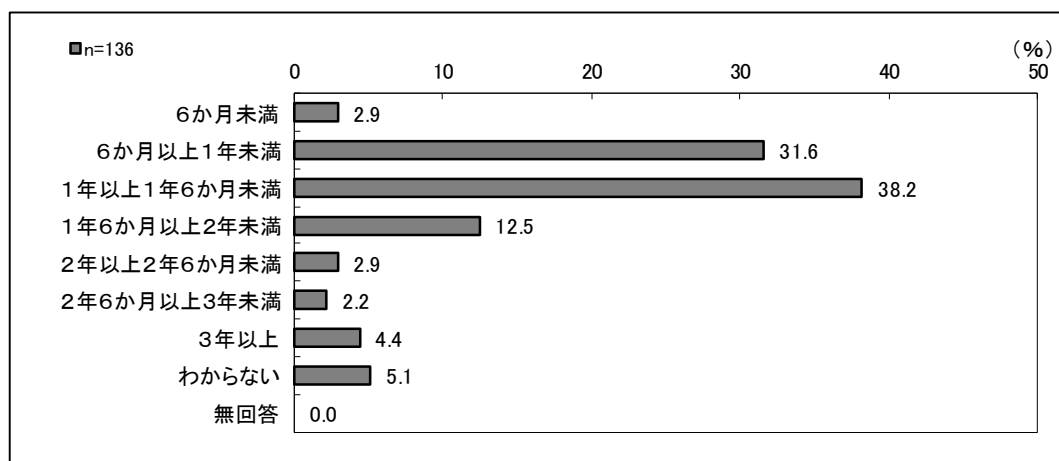
問 20-1 どのくらいの期間、育児休業を取りたいと思いますか。



「1年以上1年6か月未満」(38.2%)、「6か月以上1年未満」(31.6%)が高い割合を占める。
「1年6か月以上2年未満」(12.5%)、「3年以上」(4.4%)、「6か月未満」(2.9%)、「2年以上2年6か月未満」(2.9%)、「2年6か月以上3年未満」(2.2%)等がこれに続く。

回答者のうち、「1年未満」が34.5%、「1年以上2年未満」が50.7%、「2年以上」が9.5%となっている。

■希望する育児休業期間■



(6) 女性が子育てと仕事の両立のために企業に要望すること

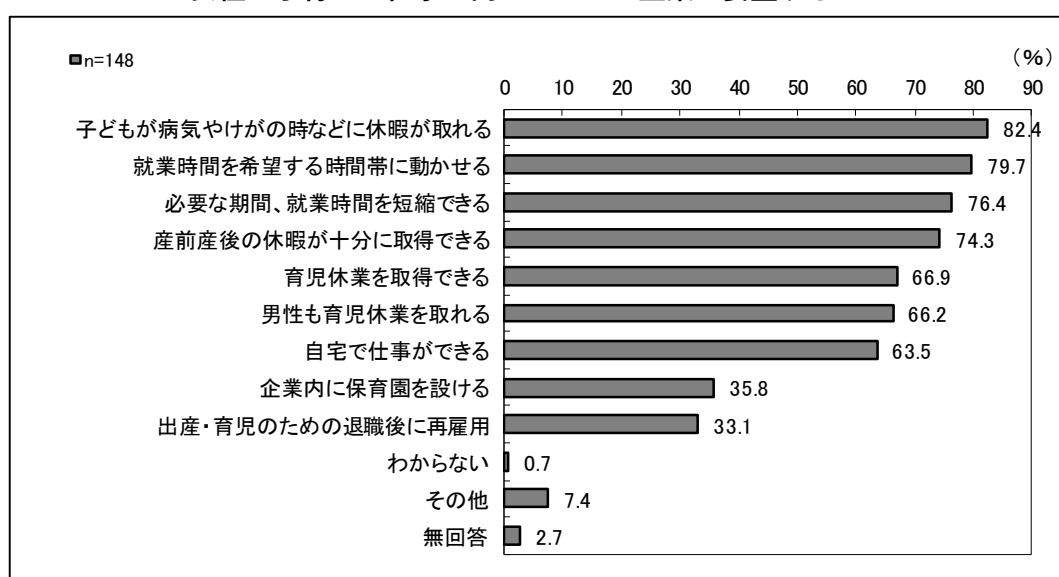
問 21 仕事を持っている女性が妊娠・出産や子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業に普及してもらいたいと思うことは、どのようなことですか。【複数回答】



「子どもが病気やけがの時などに休暇が取れる」(82.4%)が最も高い割合を占める。

「就業時間を希望する時間帯に動かせる」(79.7%)、「必要な期間、就業時間を短縮できる」(76.4%)、「産前産後の休暇が十分に取得できる」(74.3%)、「育児休業を取得できる」(66.9%)、「男性も育児休業を取れる」(66.2%)、「自宅で仕事ができる」(63.5%)等がこれに続く。

■女性が子育てと仕事の両立のために企業に要望すること■



(7) 仕事と家庭生活とのバランスの満足度

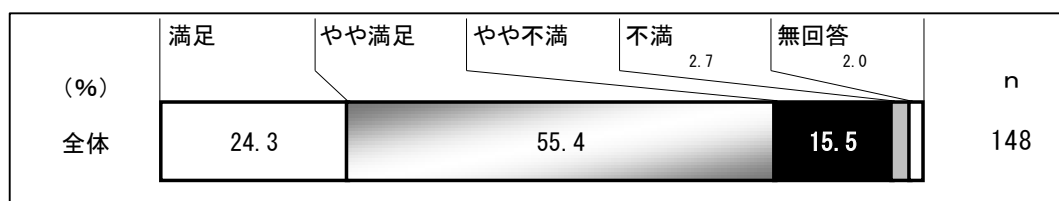
問 22 あなたは、仕事と家庭生活のバランスに満足していますか。



「やや満足」(55.4%)、「満足」(24.3%)、「やや不満」(15.5%)、「不満」(2.7%)の順。

「満足」と「やや満足」を足し合わせた「満足」が79.7%、「不満」と「やや不満」を足し合わせた「不満」が18.2%となっている。

■仕事と家庭生活とのバランスの満足度■



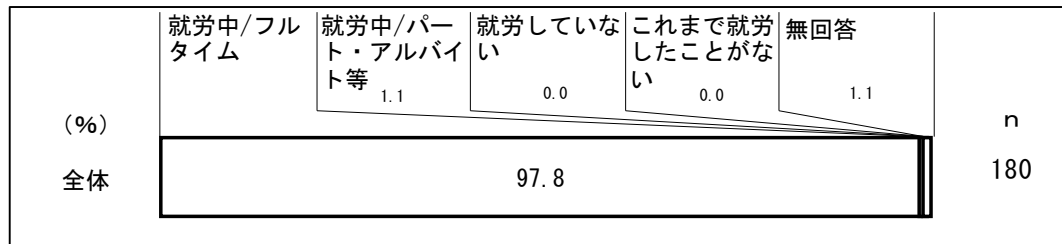
5. 配偶者（パートナー）の仕事について

（1）配偶者・パートナーの就労状況

問 23 配偶者（パートナー）はどのようなお仕事をしていますか。

「就労中／フルタイム」(97.8%)、「就労中／パート・アルバイト等」(1.1%)。

■配偶者・パートナーの就労状況■



（2）1週当たりの就労日数／配偶者等

※ 問 23 で「1」または「2」（就労している）と回答した方のみ

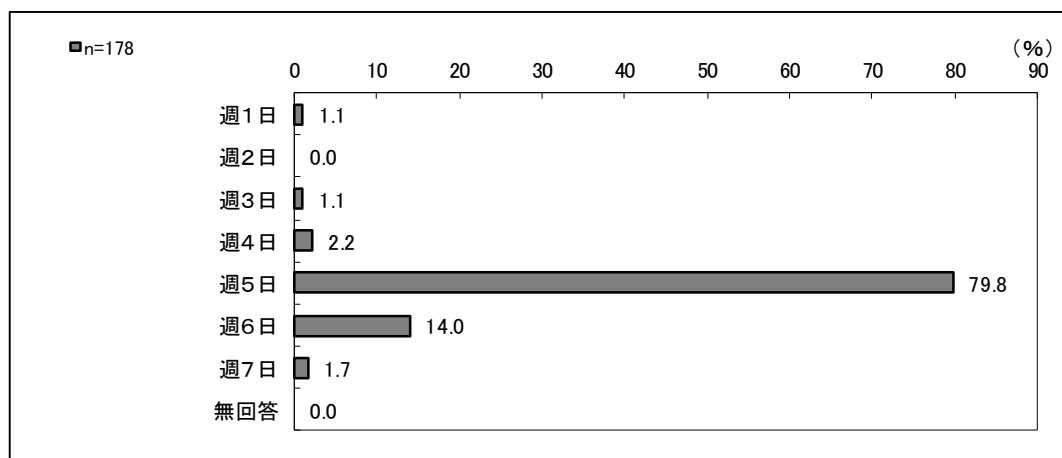
問 23-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

① 1週当たりの就労日数／配偶者等

「週5日」(79.8%)、「週6日」(14.0%)、「週4日」(2.2%)、「週7日」(1.7%)、「週1日」(1.1%)、「週3日」(1.1%)の順。

“週5日以上”が回答者の95.5%を占める。

■① 1週当たりの就労日数／配偶者等■



(3) 1日当たりの就労時間／配偶者等

② 1日当たりの就労時間／配偶者等

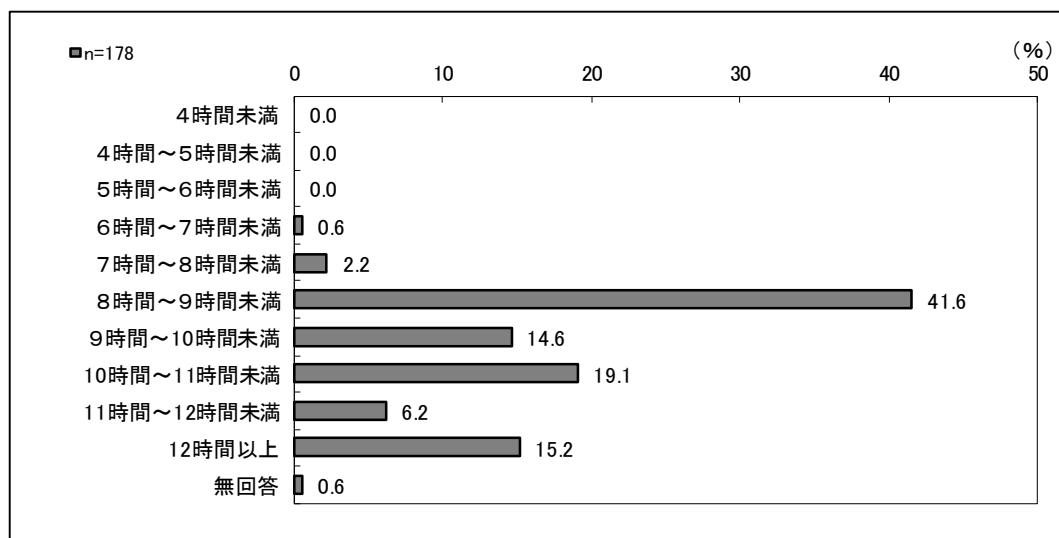


「8時間～9時間未満」(41.6%)が最も高い割合を占める。

「10時間～11時間未満」(19.1%)、「12時間以上」(15.2%)、「9時間～10時間未満」(14.6%)、「11時間～12時間未満」(6.2%)等がこれに続く。

“8時間以上”が回答者の96.7%を占める。

■ 1日当たりの就労時間／配偶者等 ■



(4) 帰宅時刻／配偶者等

※ 問 23 で「1」または「2」（就労している）と回答した方のみ

問 23-2 帰宅時刻をお答えください。時刻が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

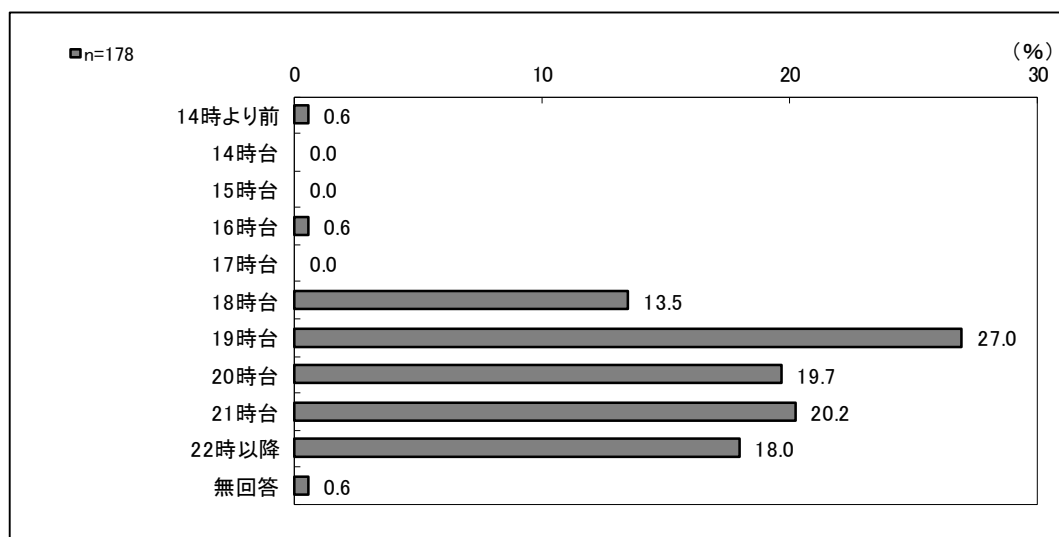


「19 時台」（27.0％）が最も高い割合を占める。

「21 時台」（20.2％）、「20 時台」（19.7％）、「22 時以降」（18.0％）、「18 時台」（13.5％）等がこれに続く。

“19 時以降”が回答者の 84.9％を占める。

■ 帰宅時刻／配偶者等 ■



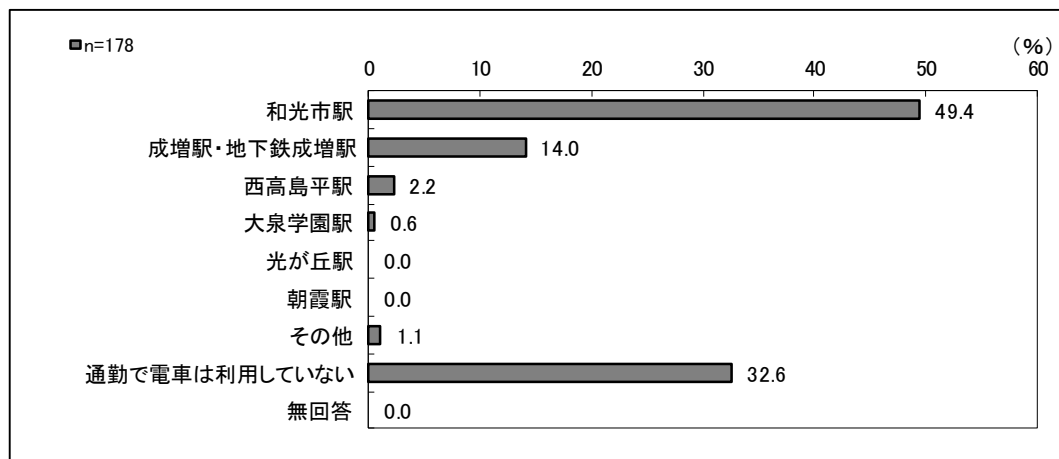
(5) 通勤で利用している最寄り駅

問 23-3 通勤で家から勤務先に通う際、最も多く利用している駅はどこですか。



「和光市駅」(49.4%)、「成増駅・地下鉄成増駅」(14.0%)、「西高島平駅」(2.2%)、「大泉学園駅」(0.6%)、「その他」(1.1%)、「通勤で電車は利用していない」(32.6%)。

■通勤で利用している最寄り駅■



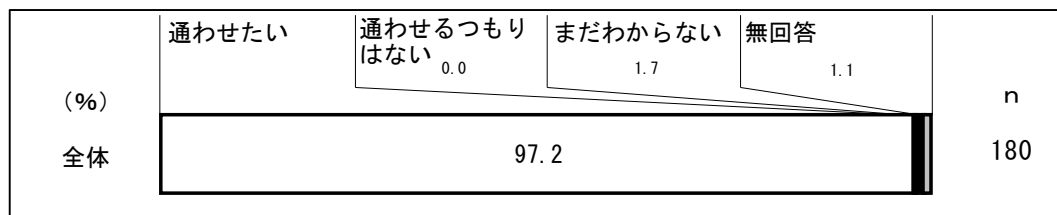
6. 保育園・幼稚園等について

(1) 保育園や幼稚園などの利用意向

問 24 あなたは、出産したお子さんを保育園や幼稚園などに通わせたいと考えていますか。

「通わせたい」(97.2%)、「まだわからない」(1.7%)。

■保育園や幼稚園などの利用意向■



(2) 通わせたい施設

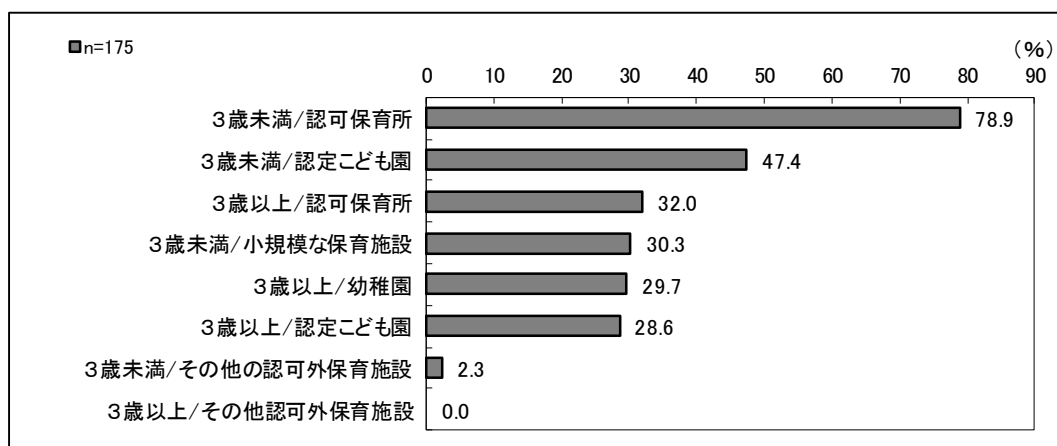
※ 問 24 で「1. 通わせたい」と回答した方のみ

問 24-1 お子さんに通わせたい施設は何ですか。【複数回答】

「3歳未満／認可保育所」(78.9%) が最も高い割合を占める。

「3歳未満／認定こども園」(47.4%)、「3歳以上／認可保育所」(32.0%)、「3歳未満／小規模な保育施設」(30.3%)、「3歳以上／幼稚園」(29.7%)、「3歳以上／認定こども園」(28.6%)、等がこれに続く。

■通わせたい施設■



(3) 通わせたい時期／歳・月齢／月

※ 問 24 で「1. 通わせたい」と回答した方のみ

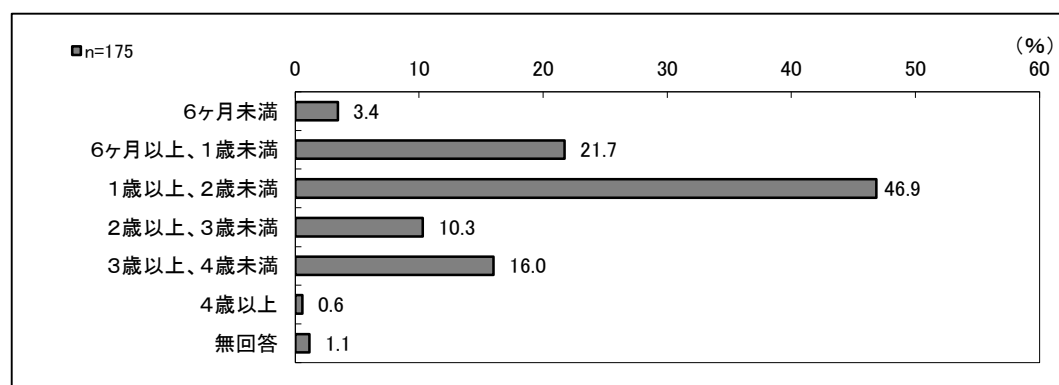
問 24-2 お子さんが「いくつになったら」通わせたいと考えていますか。



「1 歳以上、2 歳未満」(46.9%) が最も高い割合を占める。

「6 ヶ月以上、1 歳未満」(21.7%)、「3 歳以上、4 歳未満」(16.0%)、「2 歳以上、3 歳未満」(10.3%)、「6 ヶ月未満」(3.4%) 等がこれに続く。

■通わせたい時期／歳・月齢／月■



(4) 通わせたい理由

※ 問 24 で「1. 通わせたい」と回答した方のみ

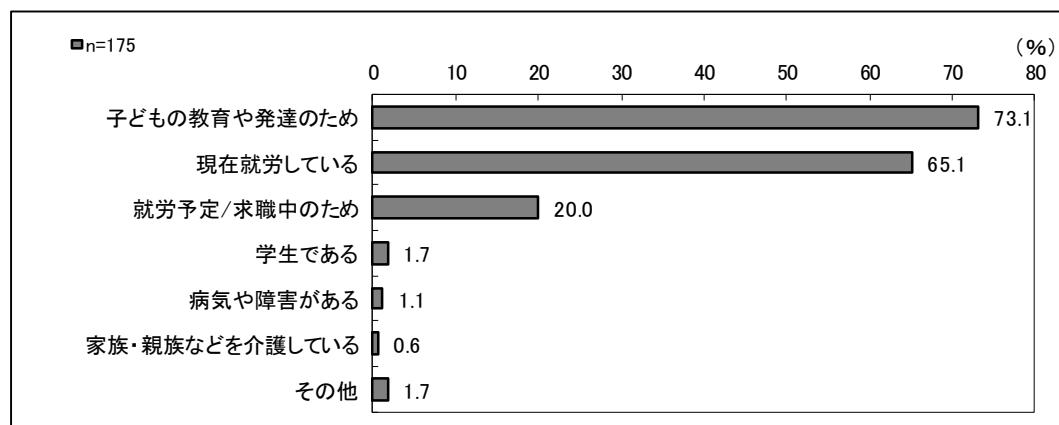
問 24-3 お子さんを保育園や幼稚園などに通わせたいと思う理由は何ですか。【複数回答】



「子どもの教育や発達のため」(73.1%)、「現在就労している」(65.1%) が高い割合を占める。

「就労予定／求職中のため」(20.0%)、「学生である」(1.7%)、「病気や障害がある」(1.1%)、「家族・親族などを介護している」(0.6%) 等がこれに続く。

■通わせたい理由■



(5) 子育て支援事業の認知状況

問 25 市で実施している次の事業について、「(1) 知っている」ものや、「(2) 今後利用したい」と思うものをお答えください。

(1) 知っている

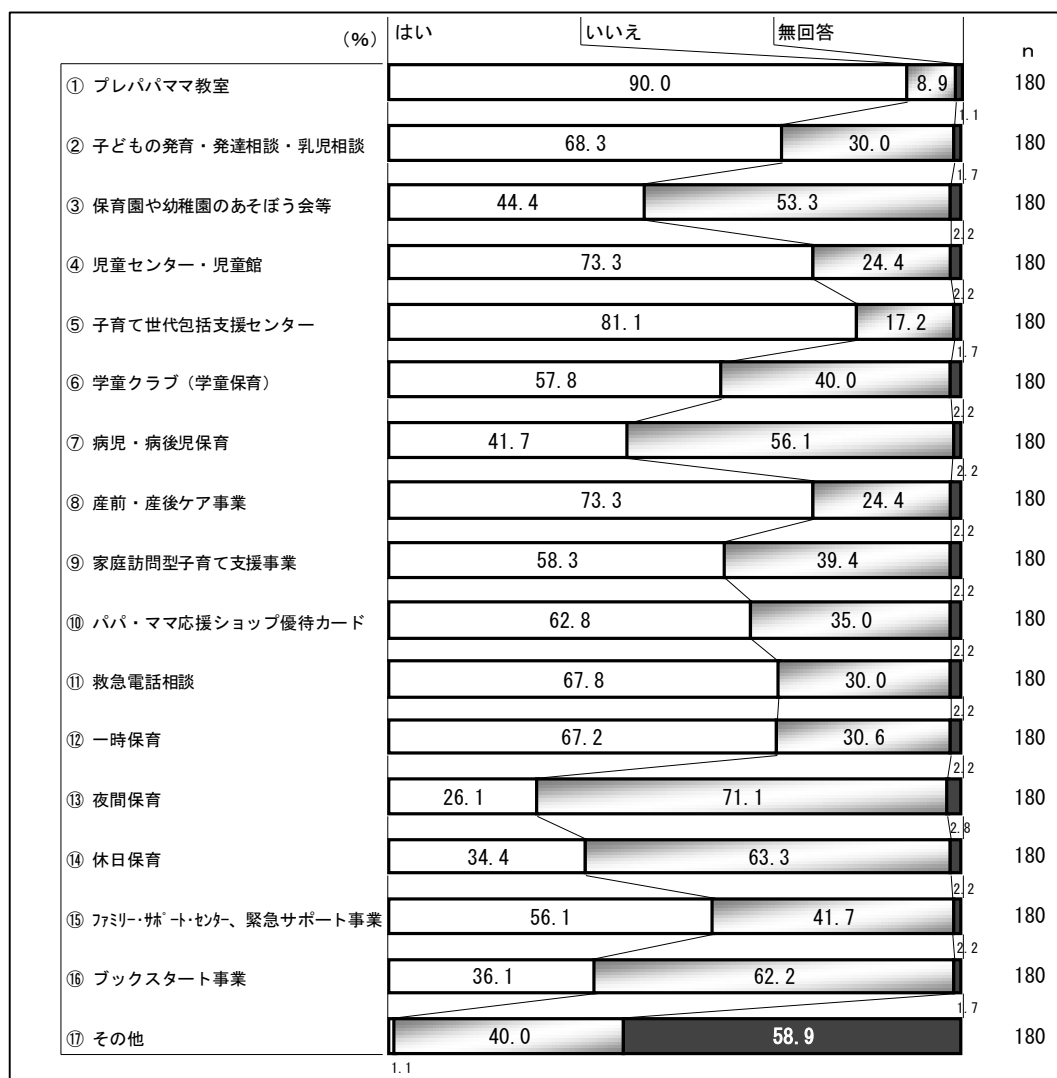


子育て支援事業の認知状況については、以下のとおりとなっている。

認知状況が最も高かったのは、「①プレパパママ教室（両親学級）」で90.0%となっている。

一方、認知状況が最も低かったのは「⑰その他」（1.1%）を除くと、「⑬夜間保育」で26.1%となっている。

■子育て支援事業の認知状況■



(6) 子育て支援事業の利用意向

問 25 市で実施している次の事業について、「(1) 知っている」ものや、「(2) 今後利用したい」と思うものをお答えください。

(2) 今後利用したい



子育て支援事業の利用意向については、以下のとおりとなっている。

利用意向が最も高かったのは「④児童センター・児童館」で87.2%となっている。

一方、利用意向が最も低かったのは「⑰その他」(6.1%)を除くと、「⑬夜間保育」で33.9%となっている。

■子育て支援事業の利用意向■

	(%)	はい	いいえ	無回答	n
① プレパパママ教室		55.6	37.2	7.2	180
② 子どもの発達・発達相談・乳児相談		71.1	23.3	5.6	180
③ 保育園や幼稚園のあそぼう会等		72.2	22.2	5.6	180
④ 児童センター・児童館		87.2	7.2	5.6	180
⑤ 子育て世代包括支援センター		84.4	10.6	5.0	180
⑥ 学童クラブ(学童保育)		69.4	23.3	7.2	180
⑦ 病児・病後児保育		63.3	30.0	6.7	180
⑧ 産前・産後ケア事業		70.0	23.9	6.1	180
⑨ 家庭訪問型子育て支援事業		52.2	41.1	6.7	180
⑩ パパ・ママ応援ショップ優待カード		86.7	7.2	6.1	180
⑪ 救急電話相談		84.4	9.4	6.1	180
⑫ 一時保育		73.3	20.0	6.7	180
⑬ 夜間保育		33.9	60.6	5.6	180
⑭ 休日保育		45.6	47.8	6.7	180
⑮ ファミリー・サポートセンター、緊急サポート事業		69.4	25.0	5.6	180
⑯ ブックスタート事業		56.1	35.0	8.9	180
⑰ その他		6.1	23.9	70.0	180

7. 出産・子育てに関する和光市の満足度について

(1) 市は子育てしやすいところだと思うか

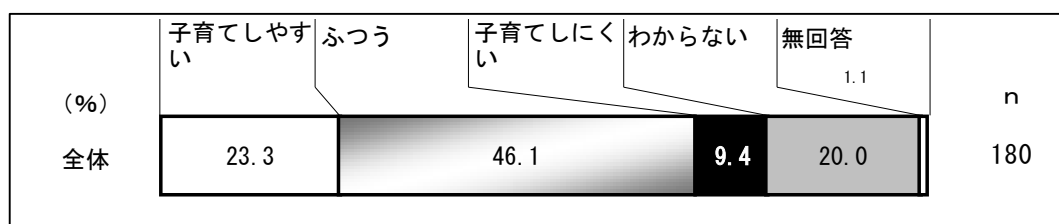
問 26 和光市は、総合的に見て、子育てしやすいところだと思いますか。



「ふつう」(46.1%)、「子育てしやすい」(23.3%)、「わからない」(20.0%)、「子育てしにくい」(9.4%)の順。

「子育てしやすい」が「子育てしにくい」を13.9ポイント上回るものの、全体としては「ふつう」が最も高い割合を占める。

■市は子育てしやすいところだと思うか■



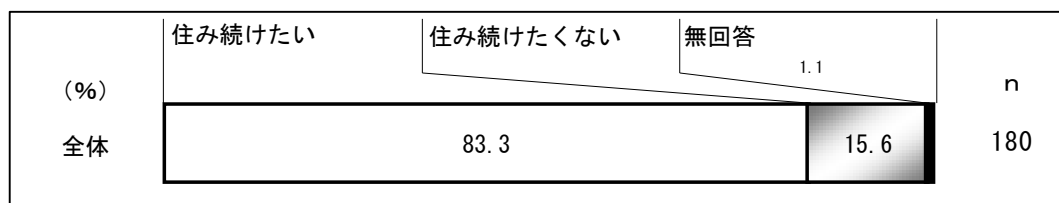
(2) 今後の定住意向

問 27 和光市に住み続けたいと思いますか。



「住み続けたい」(83.3%)、「住み続けたくない」(15.6%)。

■今後の定住意向■



(3) 子育て支援の充実のために市に期待すること

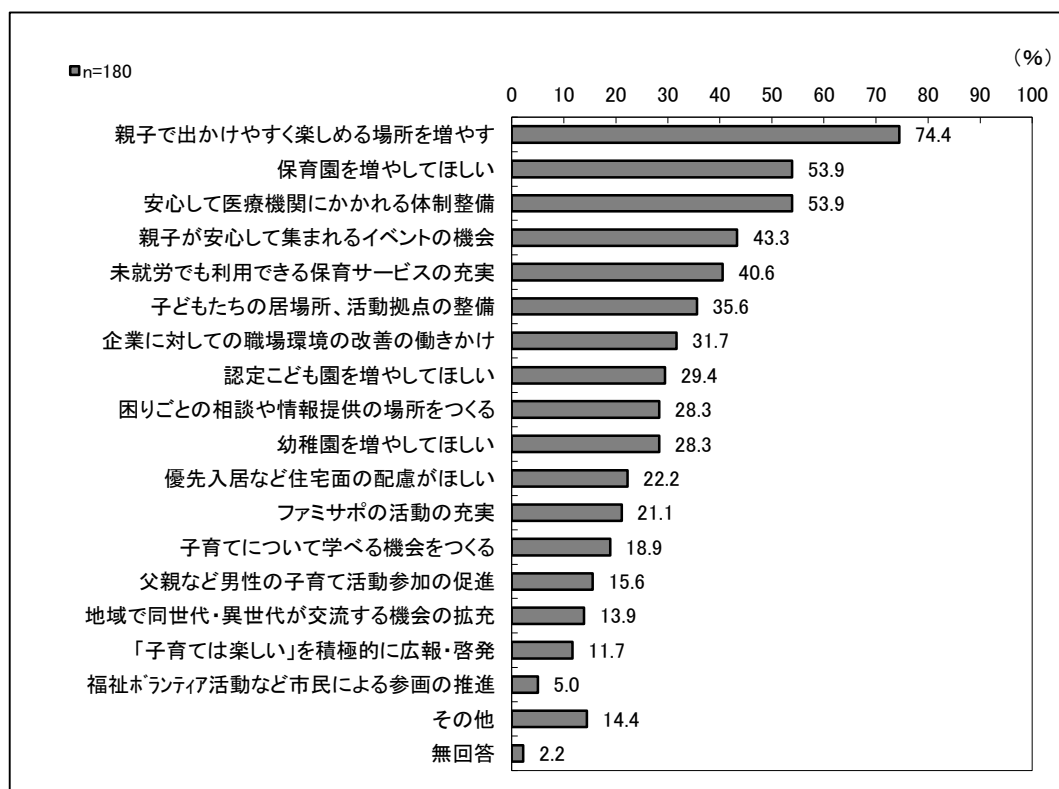
問 28 和光市に対して、今後どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。



「親子で出かけやすく楽しめる場所を増やす」(74.4%) が最も高い割合を占める。

「保育園を増やしてほしい」(53.9%)、「安心して医療機関にかかれる体制整備」(53.9%)、「親子が安心して集まれるイベントの機会」(43.3%)、「未就労でも利用できる保育サービスの充実」(40.6%)、「子どもたちの居場所、活動拠点の整備」(35.6%)、「企業に対しての職場環境の改善の働きかけ」(31.7%) 等がこれに続く。

■子育て支援の充実のために市に期待すること■



(4) 自由意見

問 29 これからの子育て支援に関してご意見がございましたら、自由にお書きください。



下記の意見が寄せられました。(一部抜粋、原文のまま)

- 妊娠・出産以前の問題で不妊治療が必要な方が増えていると思う。不妊治療に対しての負担がすごく大きいので、和光市独自で助成金とかサポートがあると良いと思う。(保険適用にはなったけど、保険適用外が多すぎて金銭的負担が全く減らない状況がある。)
- 妊娠発覚時(母子手帳受け取り時)、せっかく面談の機会があるので、上の子の保育園の利用状況に応じた市への届け出サポートをしてもらえたら嬉しかった。認定変更に関する届け出るものを把握できておらず、提出が遅くなってしまったため。
- 明石市、品川区のような所得制限がない助成をどうか実現してほしいです。(医療費、給食費、副教材費など) 2人目も考えてはいますが、共働きで働き損になるような状態では前向きに考えることができず、モヤモヤした気持ちになります。
また車がないと行きにくい施設がおおいので、ベビーカーでも気軽に乗れる循環バスとかがあればいいのになと思いました。
板橋区や練馬区にも遊び場はたくさんあって、アクセスがいいので、生まれたらそちらのほうに行くことが多くなるかもしれないなと思っています。
- 和光市在住ですが、成増付近に住んでいます。そのため、交通の便を考えると、成増の近くの小さなかかりつけ医を利用したいですが、書類の手続きが面倒で、なかなか利用できません。何か良い方法や簡単な手続き方法がありますでしょうか？
- 子育てをしていて、歩道が整備されていない場所や道幅が狭い場所が多いこと、中規模以上の公園が少ないことが気になります。特に歩道がない or 狭い点についてはベビーカーや子供と手を繋いで歩行が困難で、車がスピードを出していることも多いので怖いです。なるべく早く改善していただけると有難いです。そのほかは子育て支援が充実しており、住みやすいと感じております。
- 産後ケア施設の発展、補助をお願いいたします。
- すぐ隣は東京都で、住んでる場所が数メートル違うだけで、手当やサービスの差がある。東京都が実施しているサービスは、和光市に住んでいても同じようにサービスが受けられるようにしてほしい。(例えば、東京では子供1人あたり18歳まで月5000円もらえる。和光はもらえない。少し前のコロナ禍では、10万円クーポン。) 東京都が実施していて、和光市(埼玉県)では実施されていない補助金や制度があるので、より良い制度を採用している方に合わせてほしい。
- 子育て支援とは離れてしまうかもしれないが、交通量が多い地域だと思うので道路整備に力を入れたり、子供向けの交通安全教室などを開いてほしい。
- 市役所HPのサイトが見つらいので、みやすくしてほしいです。初めての出産で分からないことだらけなのに、HPが見つらいことで余計に情報を得づらくしているかと思います。
- 市内で雨天時など子供が遊べる場所が少ないなあと感じます。包括センターに長女が赤子の頃何度か訪れましたが、初めは少し入りにくい雰囲気がありました。イベントのカレン

ダーとかしかセンターをやるものがなく、詳しい利用方法やイベントの内容もわかりずらかった印象です。もっと沢山の方が利用しやすいように、センターの中や実際の様子が見えるような告知は必要かもしれません。

- 産後ケア施設が少ない上に、現在の施設に対する評価もよくなく感じる。提携する場所を幅広くして、産後の母親のケアを大事にして欲しい（夫）。
プレパパ、ママ教室の沐浴の動画を新しく作り直した方がいい（録画している箇所を変える、明るさが特に見ずらく感じた）。
- 「働く」に意欲あるママです。今回2人目妊娠をしてうれしい反面、キャリアがストップしてしまうことから3人目は考えられないです。女性の休職期間が長くないよう、男女平等に育休をとれたり休職期間がディスアドバンテージにならない社会ができるとよいなーと考えてます。
- 私が勉強不足なのかもしれませんが、母子手帳をもらいに子育て支援センターに行った際に、色々な子育て支援の制度があるのを知りましたが、保活のことなど分からないことがまだ沢山あり、支援センターの職員の方以外に誰に聞いたらいいのか分からず、今も子供の準備だけでもワクワクです。ネットや本を見ても情報が多く何を買っていいのか分からず、アカチャンホンポで店員さんが親身に教えて下さいますが、毎回1～2時間かかりそうといったことを気軽に聞ける場所や情報交換が出来るコミュにティがあればと思います。
- 市役所や病院等、IT化が遅れすぎだと感じている。この時勢に市役所のウェブサイトはUAを判定した表示をしてくれない（スマホからGoogle等で検索して出てきたページを表示するとPC版表示になる）し、必要な情報へアクセスしづらい。定期予防接種は電話予約しか受け付けていない病院しかなく、予約も予約変更も不便。ウェブ予約制度を導入できるよう支援してほしい。
- 3歳未満の保育費の負担が大きいと感じています。（育児休業は1年～2年で仕事に復帰しなければいけないので、保育園等に預けることが必須なのに、保育費が高く矛盾を感じます。仕事を辞めるように言われているようにも感じます。）国の制度も整っていないためとは承知していますが、市で先行し、何らかの補助等をしていただけるとよいかと感じています。

また、市で実施している子育て支援事業に関してのアクセスが難しいと感じています。プレパママ学級を予約しましたが、電話での予約が必要だったため、平日は仕事があるなか予約するのもハードルが高いと感じてしまいました。各種イベントの予約等、インターネットで完結できると助かります（時間を気にせず、予約できる形を希望します）。妊娠前に思っていたより、出産・育児にはお金がかかり、仕事との両立も難しいように感じています。金銭的な支援や柔軟な働き方の選択などの制度の確立および普及が進んでくれることを願っています。